

月刊 河井克行



マイク・ペンス米国副大統領 [右端] が主宰するヒル・ハガティ新駐日大使宣誓式に
招かれた河井克行内閣総理大臣補佐官 (当時) (7月27日・ホワイトハウス)

平成30年

早春
号

平成29年9月・10月・11月・12月
平成30年1月・2月合併号

内閣総理大臣補佐官を退任 自民党総裁外交特別補佐に指名

～引き続き“安倍首脳外交”を間近で支える～

8月3日（木）、第三次安倍内閣第三次改造に伴い、河井克行代議士は内閣総理大臣補佐官を退任しました。平成二十七年10月の就任から667日目でした。内閣改造の前日に河井克行代議士は安倍晋三内閣総理大臣に呼ばれ、「今後は私の特命に基づいた議員外交を党において行うように」と、新設された自民党総裁外交特別補佐に指名されました。

河井克行総理補佐官の担務は、「外交」と「ふるさとづくりの推進」の二つでした。「外交」分野では、30回の海外出張で延べ44ヶ国を訪問、3週間に1週間は海外に滞在と、文字通り世界を飛び回る活躍ぶりでした。なお、「外交担当」内閣総理大臣補佐官の役職は、河井克行代議士の退任とともになくなりました。

「ふるさとづくりの推進」では、新しい発想から選りすぐった地域づくり・まちづくりの専門家13名を「実践活動チーム」の委員に委嘱。四度の現地視察・意見交換会を実施しました。

党総裁外交特別補佐に
安倍首相（自民党総裁）は、河井克行・前首相補佐官を党総裁外交特別補佐に起用した。河井氏が16日、記者団に明らかにした。議員外交を通じて首相を支える新設のポストで、首相は日米同盟の深化や、オーストラリア、インドなどとの連携強化への取り組みを指示したという。

『読売新聞』8月17日付

自民、河井氏を起用
総裁外交特別補佐
自民党執行部は16日まで
に、河井克行衆院議員（広島3区）を「総裁外交特別補佐」に起用した。3日の内閣改造まで外交担当の首相補佐官を務めており、安倍晋三首相の首脳外交を側面支援する狙いがある。

『日本経済新聞』8月17日付



首相官邸で苦楽を共にした秘書官・秘書・リエゾン・運転手「チーム河井」と退任当日に



バンキシャの紳士淑女たちと



皆さま、本当にありがとうございました！

第2次ベトナム社会主義共和国 第2次オーストラリア連邦出張

～インド太平洋地域の情勢認識を共有～

河井克行内閣総理大臣補佐官（当時）は7月17日（月）から21日（金）までベトナムとオーストラリアを訪れ、安全保障協力、海洋安全保障、北朝鮮問題、TPP などにつき、各国要人と有意義な意見交換を行いました。ハノイは蒸し暑い豪雨、シドニーは日本の11月くらいの寒さ、帰国したら東京は梅雨明けの猛暑で、しかも、四泊のうち二泊が機中泊という強行日程でした。

ベトナム



フック首相と会談

ベトナム



リック国防大臣

ベトナム



昼メシは大好きなフォーに舌鼓

オーストラリア



ターンブル首相最側近のシノディノス産業・イノベーション・科学大臣と再会

オーストラリア



キング外交担当ターンブル首相上級補佐官、アンステイ国家安全保障担当ターンブル首相上級補佐官と会談

第26次ワシントンD.C. 出張

～「北朝鮮ミサイル発射」第一報が飛びこむ～

河井克行内閣総理大臣補佐官（当時）は7月24日（月）から30日（日）までワシントン D.C. を訪れました。ビル・ハガティ新駐日大使宣誓式に招かれたほか、直前にフィリピン、ベトナム、オーストラリアを訪問して大統領・首相らと会談した成果を政権高官や連邦議会委員長らに伝達しました。

実は、河井克行総理補佐官がダレス国際空港で成田行の帰国便に乗り込むわずか10分前に北朝鮮ミサイル発射の第一報が飛びこんできました。「すぐさまワシントン D.C. に戻り、ミサイル発射に関する私のメッセージを要人たちに伝えてほしい」との安倍総理大臣の指示により滞在を急ぎよ延長するという突発事件もありました。

河井補佐官、24日訪米
 河井克行首相補佐官は24日、28日に米ワシントンを訪問する。トランプ政権の關係者や連邦議会議員と会談し、北朝鮮の核・ミサイル開発問題などを協議する。

『日本経済新聞』 7月22日付



米上院議員などと会談
 “日米で連携し圧力を強めていく必要”
 認識で一致
 河井首相補佐官 共和党の上院議員など
 ガードナー上院外交委員会東アジア太平洋小委員長と会談
 『NHK ニュース』 7月27日



ハガティ新駐日大使壮行会で安倍総理大臣メッセージをハガティ氏に伝える



軍事委員会
 サリバン上院議員
 サリバン上院軍事委員と会談 『TBSニュース』 7月27日



トンプソン国家安全保障担当ベンス副大統領首席補佐官に安倍総理メッセージを伝える



ムニューチン財務長官と立ち話

第4次インド共和国・第5次ブータン王国出張

～安倍総理大臣インド訪問を地ならし～

河井克行自民党総裁外交特別補佐は9月3日（日）から8日（金）までインドとブータンを訪れました。北朝鮮による6回目の核実験強行や前週に北海道上空を通過した中距離弾道ミサイル発射をめぐり、モディ首相の側近たちとの意見交換を行いました。また、インド軍と中国人民解放軍が2ヶ月以上、ブータンを含めた国境付近で対峙した事案や、習近平国家主席肝煎りの「一帯一路」国際会議にインドが欠席した背景など印中関係の実情も聴き取りました。さらに、有力シンクタンクであるアナタ・アスペン・センター主催の公開行事で、「安倍晋三内閣総理大臣の首脳外交と北朝鮮危機」と題した講演を行い、当地メディアの反響を呼びました。

つづいて、河井克行総裁外交特別補佐は“幸福の国ブータン”を再訪。毎度機会をいただいているジグミ・シンゲ・ワンチュク第四代国王陛下との謁見は一時間半を超え、今回も国際情勢について深く鋭いご見識を賜りました。さらに旧知のトブゲー首相の私邸に招かれ、首相夫人手づくりの料理を堪能。首相、ザンボ下院議長、ワンチュク最高裁判所長官と膝を突き合わせ、米から作るブータンの酒・アラを酌み交わしながら、両国関係の発展について意見交換を行いました。

「弾道ミサイル保有 検討の時期」

首相側近の自民・河井特別補佐

自民党の河井克行・総裁外交特別補佐は5日、訪問中のニューデリーでの講演で「個人的には、自衛隊が中距離弾道ミサイルや巡航ミサイルを持つ可能性を真剣に検討すべき時期にきていると考える」と述べた。河井氏は安倍晋三首相の側近として知られ、8月まで首相補佐官を務めた。今月中旬に予定されている首相訪印の調整でインドを訪問していた。講演では、北朝鮮のミサイルや核実験などの脅威に触れた上で、日本を取り巻く安全保障環境が「以前と比べて明らかに異なった段階に移った事実を認めなければならない」として、ミサイル保有に言及した。（ニューデリー＝奈良部健）

河井総裁特別補佐訪印へ、安倍晋三首相は1日、自民党の河井克行総裁外交特別補佐と官邸で会い、3～8日の日程でインドとブータンを訪問するよう指示した。河井氏は弾道ミサイルの発射を繰り返す北朝鮮を巡り、訪問先の政府要人に、圧力が必要との日本の立場を伝える考えだ。会談後、河井氏が記者団に明らかにした。

『中国新聞』9月2日付

『朝日新聞』9月6日付



ワンチュク第4代国王陛下に謁見



モディ首相に近いアショク・マリク大統領報道官と再会



アナタ・アスペン・センターで英語の講演とパネル・ディスカッション



トブゲー首相私邸で首相、ザンボ下院議長、ワンチュク最高裁判所長官と懇談

第27次ワシントンD.C.出張

～ペン斯副大統領最側近のローズ首席戦略官と朝食会～

河井克行自民党総裁外交特別補佐は9月12日（月）から15日（木）までワシントン D.C.を訪れました。ペンス副大統領の数十年來の友人であるトム・ローズ首席戦略官（写真右上）との朝食会、マンスフィールド財団での卓話、トランプ政権に強い影響力を持つ連邦議員やシンクタンク所長らとの会談などを行いました。「北朝鮮危機は中国問題にはかならない」ことや、中国による北朝鮮への圧力が不十分であることについて、会談相手全員と認識が一致しました。

今回会談した現・元連邦議員五人のうち四人は民主党。与党・共和党だけでなく、野党とも北朝鮮危機に対する認識が一致したことは、日本の立場のいっそうの強化につながります。

北朝鮮が水爆実験とするとする6回目の核実験に続き、国連安全保障理事会決議の直後に再び日本上空を通過する弾道ミサイルを発射するという方向が見えぬ行動を続けていることは受け入れられない。現在の朝鮮半島情勢は極めて深刻であり、われわれはより強い危機感を持つ必要がある。

個人的に、自衛隊による中距離弾道ミサイルや巡航ミサイルの保有を真剣に検討するときにきていると考えている。北朝鮮危機への対処で最も重要なのは、日本が自らの防衛力を強化し、同盟国の米国や友好国との協力を通じて抑止力を高めてい

北朝鮮危機

私はこうみる



ローズ首席戦略官兼補佐官と朝食をともにしながら意義深い意見交換



マンスフィールド財団での卓話『北朝鮮危機と日本の外交・安全保障政策の変容』を報じる『TBSニュース』9月14日



政権に影響を持つヘリテージ財団エドウィン・フルナー創設者兼所長とはしばしば会談



野党民主党の大立者トム・ダシュル元上院院内総務

自民・総裁外交特別補佐

河井克行氏



巡航ミサイル保有の検討を

くことだからだ。

その意味で、米空軍のB1戦略爆撃機と航空自衛隊の戦闘機による共同訓練を引き続き実施し、日米とオーストラリア、インドによる海上での共同作戦も実施する必要がある。

北朝鮮危機は中国問題に他ならない。専門家の間には、現代版シルクロード経済圏構想「一帯一路」を自指す中国の習近平国家主席が地域における影響力を高めるために北朝鮮を手駒として使おうとして核保有国になることを望んでいるとの見方もある。中国は北朝鮮の核・ミサイル開発凍結の見返りに日本や韓国に駐留する米軍のプレゼン

『産経新聞』9月19日付

（聞き手 加納宏幸）

第2次アブダビ首長国・第6次ケニア共和国出張

～中近東のカギを握るアブダビ皇太子、

アフリカ大陸次世代指導者ケニア大統領との親交を深める～

1月24日（金）、河井克行自民党総裁外交特別補佐は、アラブ首長国連邦（UAE）大統領の役割を事実上担っているムハンマド・ビン・ザーイド・アブダビ皇太子殿下（MbZ）と皇太子宮殿で会談を行いました。今年4月につづく二度目の訪問は、ムハンマド皇太子殿下自身の特別な招きによるもの。前回四月の初会談は予定の20分間を大きく上回る一時間半におよびましたが、今回も予定を大幅に超える一時間行われました。海上油田権益延長や防衛協力の深化など二国間関係やイラン、カタール、イスラエルなど中近東地域情勢全般につき、大変実り多い率直な意見交換となりました。ムハンマド皇太子殿下（写真→）は“安倍首脳外交”に大きな関心と深い敬意を表されています。激しく揺れ動く中近東地域を動かす主役の一人と目されるムハンマド皇太子と安倍総理との個人的な信頼関係を深めるため、河井克行総裁外交特別補佐はこれからも汗を流します。



つづいて河井克行総裁外交特別補佐は、28日（火）に首都ナイロビで行われたケニア共和国のウフル・ケニヤッタ大統領就任式典に内閣総理大臣特使として参列。式典終了後、大統領官邸に移り公式午餐会に参加。その後、大統領との会談を行いました。これまでしばしば河井克行総裁外交特別補佐と会談したケニヤッタ大統領は、会うやいなや「My friend, my friend!」と叫びながら強く抱き締めました。河井克行総裁外交特別補佐は安倍総理大臣親書を手渡しして再選の祝意を述べるとともに、日本とケニアの重要な経済協力案件であるインド洋の要衝・モンバサ港特別経済区域の推進について大統領の指導力を要請しました。アフリカ大陸を引っ張ってきた長老の大統領たちが世代交代を迎えるいま、ケニヤッタ大統領（写真→）には東アフリカ地域だけでなく、アフリカ全体を代表する若き逞しい指導者としての活躍が期待されています。



アブダビ



「Regulatory Sandbox（規制の砂場）」アブダビ・グローバル・マーケット金融サービス規制庁（FSRA）のリチャード・デンCEO

ケニア



長年の友人で次期外務長官候補のラファエル・トゥジュ元外務大臣（与党幹事長）

ケニア



南アフリカ共和国マイテ・ヌコアナ = マシャバナ外相と大統領就任式典で言葉を交わす『ケニア NTV 生中継』

第28次ワシントンD.C. 出張

～バノン前大統領首席戦略官と初会談～

河井克行自民党総裁外交特別補佐は12月4日（月）から9日（土）までワシントン D.C. を訪れました。

6日（水）、ワシントン D.C. の自宅で行われた河井克行自民党総裁外交特別補佐とスティーブ・バノン前大統領首席戦略官との初会談は、当初予定の一時間が二時間半にも及び、バノン氏（写真→）の世界観と世界情勢、先の大統領選挙の勝因と次の中間選挙の見通し、そしてホワイトハウスの内情など大変興味深い意見を聴き取ることができました。「私は安倍さんの大ファンです」と、安倍総理大臣に寄せる敬意と信頼の言葉を繰り返し発したことが印象的でした。

さらに、ペンス副大統領の長年の友人であるトム・ローズ副大統領首席戦略官兼補佐官（写真↘）とは、エルサレムを首都と認めた前日のトランプ大統領演説や、中近東情勢、アジア情勢などにつき、朝食をともにしながら意見交換を行いました。

また、11月下旬のムハンマド・アブダビ皇太子との会談を踏まえ、中近東研究で権威のある中東研究所などを訪問。中近東地域の最新情勢について意見交換を行いました。

バノン氏やローズ氏だけでなく、会談したすべての相手から、厳しさを増す世界情勢の中で日本と安倍総理大臣が果たしている役割の重要性が指摘されました。



バノン氏との会談を報じる『NHKニュース』・『日本テレビニュース』12月7日



ミサイル防衛の日米協力深化をマイク・ロジャース米下院軍事委員会戦略軍小委員長と話し合う『TBSニュース』12月7日

◎バノン氏「正恩氏は計算高い」

トランプ米政権で首席戦略官兼大統領上級顧問を務めたスティーブ・バノン氏は6日、訪米中の河井克行自民党総裁外交特別補佐とワシントンで会談し、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長について、「合理的で計算高い人物だ。レッドラインを踏み越えるようなことはしない」と分析するとともに、予想される犠牲の大きさから現段階での米国の軍事行動に慎重な見解を示した。河井氏が記者団に明らかにした。

（ワシントン 加納宏幸）

河井氏によると、バノン氏は金正恩氏を「合理的で計算高い人物」と指摘。米軍による軍事攻撃の可能性は「予想される犠牲が大き」として慎重な姿勢を崩さなかった。中国が進める現代版シルクロード経済圏構想「一帯一路」には警戒感を示した。バノン氏は今年8月に政権から去ったが、今でもトランプ氏と「2日に一度は電話している」という。

「正恩氏は一線越えない」
【ワシントン共同】トランプ米大統領の最側近とされるバノン前首席戦略官兼上級顧問は6日、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長について「レッドラインを越えることはしない」との見方を示した。訪米中の河井克行自民党総裁外交特別補佐が会談後、記者団に明らかにした。

バノン氏が分析



トランプ政権に近い保守系シンクタンク「ハドソン研究所」で『北朝鮮危機、中国の台頭、第四次安倍晋三内閣の発足』と題した卓話を行う



トランプ政権移行チーム執行委員会理事を務めた親友のデヴィン・ニューネス下院諜報特別委員長



中東研究所のチェンバレン所長らと



中近東政治の専門家、ジョーンズ・ホプキンス大学 SAIS (高等国際研究大学院)ヴァリ・ナスル学長

ワシントン D.C. での初会談から10日あまり、12月18日(月)、河井克行総裁外交特別補佐は都内のホテルでパノン前大統領首席戦略官と再び充実した会談を行いました。



強硬トランプ流安保

【ワシントン＝水沢毅】トランプ米大統領が18日に公表する国家安全保障戦略は、脅威に「力」で対処する姿勢を明確にする。核・ミサイル開発を続ける北朝鮮とイランは「ならず者国家」として米国の脅威になるとの認識を示す。中国やロシアも現状への「修正主義勢力」として警戒し、同盟国の影響力が強い地域への関与を強める構えだ。

(1面参照)

北東アジア情勢が緊迫するなか、日本は強い米国のアジア関与を歓迎す

「北朝鮮・イラン、ならず者」「中ロ、修正主義勢力」

る雰囲気強い。安保と経済で米国の影響力が弱まることを懸念していた。自民党の河井克行総裁外交特別補佐は18日、都内でトランプ氏の側近とされたパノン前首席戦略官・上級顧問と会い、国家安全保障戦略で意見交換した。河井氏によると、パノン氏は「各地域の同盟国との関係深化が必要不可欠である」という基本的方針だ」と説明した。

対北朝鮮圧力強化で一致
自民党の河井克行総裁外交特別補佐は18日、トランプ米大統領の側近とされるパノン前首席戦略官兼上級顧問と東京都内で会談し、緊張が高まっている北朝鮮情勢について、日本が協調して圧力を強化する必要性で一致した。

パノン氏は北朝鮮との「無条件対話」に言及したティラーソン米国務長官に強い不満を表明。後に発言を撤回したことは「正しい方向性だ」と述べた。会談後、河井氏が明らかだった。

『中国新聞』12月19日付

「金正恩は冷静で合理的」
パノン米前首席戦略官
自民党の河井克行総裁外交特別補佐は18日、都内でトランプ米大統領の側近とされたパノン前首席戦略官・上級顧問と会談した。河井氏によると、パノン氏は北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)委員長を「冷静、合理的な指導者だ」と評した。「米国のレッドライン(譲れない一線)を超えることはない」との認識も示した。

『日本経済新聞』12月19日付

『日本経済新聞』12月19日付

「米大統領選の公約実現がすべて」

安倍晋三自民党総裁の外交特別補佐の河井克行衆院議員―写真―がこのところ3回、ドナルド・トランプ米政権で首席戦略官兼大統領上級顧問を務めたスティーブン・バノン氏と会い、その印象を19日、語った。



バノン氏はホワイトハウスを離れたが、マイク・ペンス副大統領の首席戦略官であるトム・ローズ氏が言ったという。

「バノン氏は自由に発言し、自由に動いている。トランプ大統領への影響力は、ホワイトハウスの檻(おり)から出たあとの今の方が、強まった」
河井氏は12月6日に、ワシントン・バノン邸で2回にわたり計2時間半、最近来日したバノン氏とホテル

で約1時間の会談をした。バノン氏は昨年の大統領選で、トランプ陣営の選対本部最高責任者だった。「トランプ氏はなぜ当選したのか」との質問にバノン氏が答えた。

「経済だ。民主党はヒラリー・クリントン元国務長官が代表だが、米国の経済的没落をマネージ(運営)してきた。共和党のエリート層もそれを見過(こ)してきた」
バノン氏が続けた。

「これによって最も被害を受けたのが、広い内陸部に住んでいる労働者だ。彼らはこれまでボイス(声)がなかった。だから、サイレント・マジョリティー(声なき多数)だっ

鈴木棟一の風雲永田町

5747

本来は民主党支持だが、これを聞いてトランプ氏支持がさらに勢いを増した」

た。その人たちにボイスを与えたのが、トランプ氏だ」
次のエピソードも。
「内陸部の労働者にトランプ氏支持が多いと報じられたとき、ヒラリー氏が思わず『(トランプ氏支持者の半数は)あわれな、みじめな人たち』と言ってしまった。労働者は、

陸部の人たちに支持してもらえたら、勝てる。それには選挙公約を忠実に実行していくことだ」
河井氏が語った。
「エルサレムをイスラエルの首都と宣言したのも、選挙公約だった。大幅な減税を何とかまとめたのも、同じだ」

そして対中強硬派のバノン氏。
「選挙中、トランプ氏は『米国人から職を奪っているのは、中国ではないか』と言った。今回発表した国家安全保障戦略でも、中国を『戦略的競争相手』と表現し、『中国の脅威』とはっきり盛り込んでいる。中国への厳しい姿勢に、バノン氏の世界観が反映している」
(政治評論家)

バノン氏が河井克行氏に語る

来日したドゥテルテ・フィリピン共和国大統領と 東京で会談

10月31日(火)、フィリピンのロドリゴ・ドゥテルテ大統領夫妻が来日。首脳会談に先立ち、河井克行自民党総裁外交特別補佐は都内のホテルに大統領を表敬訪問。ドゥテルテ大統領との会談はこの一年あまりの間で7回目になります。予定された会談時間の10分を過ぎても、大統領が立ち上がる気配はなく、結局一時間近くも会談。総選挙の直後ということで、同席した約10人の閣僚たちは次々と「Mr. KAWAI, Congratulations!」と河井克行総裁外交特別補佐にお祝いの抱擁をしました。



カエタノ外務長官夫妻と安倍総理夫妻主催晩餐会で

「来日直後の大統領と、帝国ホテルで40分間、会談した。同行の閣僚たちも『カワイさん当選おめでとう』と、衆院選の結果に握手攻めだった」。河井氏は6月、安倍首相と協議して、フィリピン北部のスービック港に寄港した海上自衛隊のヘリコプター「搭載型護衛艦」いずもに、ドゥテル

テ大統領が閣僚を引き連れて10月30日来日、安倍晋三首相との首脳会談、歓迎晩餐(ばんさん)会に臨んだ。安倍自民党総裁の外交特別補佐である河井克行衆院議員(写真)は「1年間でドゥテルテ氏と7回会った」という親密な仲である。



「ダバオはマニラ麻の発祥地で、日本人の植民者が多く、大統領は幼いときから日本人と親しんだ。昨年10月、安倍首相との初会談で、大統領は米国への不満をぶちまけた。首相はこれをじっくり聞き、『国益のためには耐えなければならぬ』と説いた。

ルテ氏を案内した。この時、河井氏は首相の親書を持参して、大統領とじっくり話す機会があった、という。歴代大統領が財閥で上流階級だったのと対照的に、ドゥテルテ氏は検事出身、ダバオ市長30年という庶民派。「反米であり親日である」という。まず親日について。

鈴木棟の風雲水田町

5715

選の最中、駐比米大使がテレビでドゥテルテ氏を攻撃した」

さらに、アキノ

河井克行氏が語る、比大統領の本音

前政権が、南シナ海での中国の岩礁埋め立て問題で、オランダ・ハーグの仲裁裁判所に提訴して勝利した。中国は猛烈に巻き返した。ドゥテル

5日にドナルド・トランプ米大統領が来る、微妙なタイミングである。(政治評論家)

「判決通り、中国に『岩礁から出てくれ』と言っても、中国はウンと言わない。フィリピンの強い軍事力を行使しても、当然、中国は反撃してくる。そのとき、米国はフィリピンのために、中国に立ち向かってくれないのではないか」。この判断もあってドゥテルテ氏は中国との交渉で、経済援助で手を打ったかもしれない。河井氏が言った。「これはまさに、沖縄県・尖閣諸島を含め、日本の問題でもある。安倍首相が日夜、考えていることでもある」。

米国は中国に「対抗してくれるのか」

た。大統領は「アジアで日本の存在が重要で大事だ」と認識し、首相と信頼関係ができた。今回の訪日でも、首相を「モア・ザン・ブラザーズ」(兄弟以上)と表現していた。反米とは。

「庶民レベルでは、米国の植民地時代の行動に反感が多い。大統領はこれを代弁している。昨年大統領選の最中、駐比米大使がテレビでドゥテルテ氏を攻撃した」。

「きさらぎ会」忘年会に安倍総理大臣出席

12月19日（火）夜、故鳩山邦夫先生が創設した派閥横断勉強会「きさらぎ会」の忘年会に安倍晋三内閣総理大臣が来賓として参加していただきました。くつろいだ感じで、先の衆議院解散・総選挙を振り返るとともに、来年度予算案編成や直近の首脳外交などについてご挨拶。また、会の顧問である菅義偉内閣官房長官にも立ち寄っていただきました。

平成三十年は自民党総裁選挙の年。「何があろうとも安倍総理－菅官房長官を支える」との故鳩山先生の信念に則り、これからも二人を支えていくことを出席した約40名の議員は改めて確かめました。



河井克行代議士は発足当初から「きさらぎ会」の幹事長を務めています

超党派「日米同盟コーカス」開催

11月21日（火）、自民党、希望の党、日本維新の会、民進党、無所属の衆参国會議員14名からなる「日米同盟コーカス」が二年半ぶりに開催。国民の生命と財産を守るミサイル防衛の拡充に与党と野党の違いがあってはなりません。河井克行代議士は日米同盟の戦略的価値を共有する与野党の垣根を越えた国會議員と、日米が連携したミサイル防衛の強化につき建設的な議論を興してまいります。



「NHKニュース」11月21日

外務大臣主催天皇誕生日祝賀レセプションに出席

12月22日（金）、外務省飯倉公館で行われた河野太郎外務大臣夫妻主催の天皇誕生日祝賀レセプションに河井克行代議士はあんり夫人と出席。在京各国大使らと挨拶を交わしました。河井克行代議士と河野外務大臣は平成八年衆議院初当選“同期の桜”。平成二十一年党総裁選挙に河野氏が立候補した際、河井克行代議士が推薦人に名を連ねたこともありました。



菅義偉内閣官房長官を迎え、 『ゆめづくりフォーラム Part26』開催

7月31日（月）、広島市内のホテルで恒例の「ゆめづくりフォーラム」が自民党広島県第三選挙区支部と河井克行後援会「三矢会」連合会の主催で行われました。今回は、菅義偉内閣官房長官が内閣改造直前の多忙を極める中をご来援。約千人の参加者は菅官房長官の講演に聞き入りました。なおフォーラムに先立ち、厚生労働関係団体、国土交通関係団体、経済産業関係団体、芸北地区特定郵便局長会との意見交換会がそれぞれ開催されました。



「平成二十六年8.20. 広島市北部集中豪雨災害」から三年

8月20日、河井克行代議士は各地で営まれた追悼行事10ヶ所で祈りを捧げるとともに、被災地の現状を確かめるため、約30ヶ所を視察して回りました。国が前面に出た復旧・復興対策は着実に実を結び、国土交通省と林野庁による緊急直轄事業の本体部分はすべて完成。国の補助による県の事業も進捗。

併せて、河井克行代議士が自民党「土砂災害防止法」改正プロジェクト・チーム座長として取り組んだ、自治体による特別警戒区域（レッド・ゾーン）指定も急増しています。

被災地がかつての緑溢れる地に戻るその日まで、河井克行代議士は皆さまとともに歩んでまいります。



みつやか
各地区で広がる後援会「三矢会」の活動



北広島町千代田支部「やよい会」役員会（8月22日）



白木地域「おつかれさまの会」（12月10日）



高陽地域「おつかれさまの会」（12月10日）



安佐地域「おつかれさまの会」（12月16日）



安佐南区「おつかれさまの会」（12月17日）



安芸高田市「おつかれさまの会」（12月23日）

みなさまとのふれあいが河井克行の力になります



72回目の「広島原爆の日」。平和公園・上温井義勇隊慰霊碑前にて（8月6日）



老人クラブびしゃもん会趣味展（11月3日）



安学区町民運動会（11月4日）



福園西公民館まつりで餅つき（11月11日）



長町えびすまつり（11月18日）



沼田町ふるさと祭り（11月19日）



帰国早々、大町学区体協文部科学大臣表彰受賞記念祝賀会（12月9日）



三田学区盆踊り大会（8月13日）



三入東一丁目自治会敬老会（9月10日）



倉掛公民館まつり（11月11日）



折目えびすまつり（11月19日）



安佐北区消防団年末特別警戒出動式（12月27日）



甲田・加余田秋祭り（11月11日）



高嶺神楽団創立20年記念公演
（12月3日）



芸北神楽競演大会にて商工会青年部の皆
さまと（7月22日）



壬生万燈祭にて女性会の皆さまと
（8月27日）



そばまつりとよひら（11月19日）



農林水産省「全国棚田百選」安芸太田町
簡賀「井仁の棚田」にカフェが誕生
（9月9日）



楽市楽座五サー市（11月12日）



つつがふるさとまつり（11月12日）



戸河内えびすまつり・戸河内連合神楽共
演大会で商工会青年部と（11月19日）



自民党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208 号室
TEL：03-3581-5111(内線 71208) 03-3508-7518(直通) FAX：03-3508-3948

広島事務所 〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22
TEL：082-832-7301 FAX：082-878-3301

facebook

河井克行公式フェイスブック更新中

「いいね!」を押して最新活動報告をチェック!
www.facebook.com/kawaikatsuyuki